

# 学校・家庭・地域をつなぐ「熟議と協働」の取組への地域による学校支援

## 福岡県福津市

活動名

福津市立福岡中学校 学校運営協議会

関係する学校

福津市立福岡中学校

活動区分	※H25年度の実績(補助の有無についてはH26年度の状況)			
	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度
学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティ・スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成23年6月28日	15人	562人	18学級

活動の概要

平成23年度から福岡中学校運営協議会は「行きたい学校・帰りたい地域・住みたい」地域とともにある学校づくりを目指して実働部会を組織し、学校・家庭・地域・生徒の熟議から様々な協働を生み出してきた。本物体験の取組から感謝の気持ちが生え、生徒の地域貢献の意識が高まり、生徒と地域との協働へ拡大している。

### 【スタードームの製作指導】

「授業以外で学びたいことは」というテーマで地域の方々や中学生が熟議し、「サバイバル体験がしたい」という意見が出された。生徒の想いを実現させようと郷育カレッジに相談することからこの取組が始まった。本年度で4年目。スタードームとはドーム状に竹を組み、上からシートをかぶせた巨大テントのこと。中学生が20人くらい宿泊することができる。郷育カレッジのスタッフがスタードーム説明会で作り方を説明し、各クラスごとに模型による製作指導を行った。竹の切り出しは地域の方や保護者のボランティアを募り行う。宿泊体験学習当日、スタードーム製作において、竹を裂くことから組み立てまで郷育カレッジのスタッフや保護者、地域の方が生徒の指導支援を行った。各学級で2基のスタードームを製作し、生徒はドームの中で将来の夢を語り合い、宿泊した。

### 【地域合同地震・津波避難訓練】

平成24年度学校の隣接する花見区住民が地域の地震・津波避難訓練を実施した。平成25年度、花見区から中学生の救援活動を含めた地域合同地震津波避難訓練について提案をされた。学校や関係機関(市役所・消防署・消防団・警察等)との事前打合せ、教職員の研修、生徒の防災学習等について地域の方々为主导で行い、平成25年11月9日地域の避難所である中学校に1300人が避難する地域合同訓練を実施した。中学生は安全確保後、地域の救援活動として避難者の受付・誘導、要援護者の搬送、避難所でのおにぎりづくりと配付等の地域貢献活動を行った。

## ● 特徴

### 【特徴的な活動内容】

- 郷育カレッジとの協働によるスタードームの製作
  - ・1年宿泊研修に向けたスタードーム説明会の開催(土曜授業日)
  - ・郷育カレッジによる模型作成学習会の実施
  - ・郷育カレッジスタッフ、保護者、地域住民による宿泊体験学習当日の製作サポート
- 地域合同地震・避難訓練
  - ・学校、地域、関係機関(市役所、消防署、消防団、警察等)との打合せ
  - ・地域合同による教職員研修、生徒の防災学習
  - ・各学年の救援活動の分担(応急手当、救援活動、保育園児の避難誘導、避難者受付、おにぎりづくり、お茶出し)及びリハーサル

### 【実施に当たっての工夫】

- 郷育カレッジとの協働によるスタードームの製作
  - ・入学後に地域との触れ合いの場を設定することにより、大人との協働を通して信頼関係をづくり、保護者や地域の方の温かさを感じさせることで郷土愛を深める。
  - ・地域・保護者・教職員の協働により、竹の切りだし等、生徒の製作補助を行っている。
- 地域合同地震・津波避難訓練
  - ・学校・地域・関係機関による実行委員会での企画・運営を行うことで、地域で育てる子どもの姿の共有や地域の実態に応じた避難訓練ができ、学校と地域の互恵関係が築けた。
  - ・地域が専門の講師を招聘し、生徒、教職員、地域住民の合同研修を実施したことで共通理解を図ることができている。
  - ・生徒による地域住民の救助活動から生徒の地域の一員としての自覚と自信が芽生えた。



福岡中コミュニティ・スクール構想図



地域合同地震・津波避難訓練

## ● 事業を実施して

- スタードーム
  - ・学校の教職員だけではできない活動であり、生徒にとって貴重な体験となっている。また、多くの大人たちが生徒に関わることで大人と子供との信頼関係が深まった。困難克服体験として位置づけ、地域住民、生徒による協働から成功体験を通して自己有用感が高まった。
- 地域合同地震・津波避難訓練
  - ・災害時における中学生の救援活動の内容と可能性について学校・家庭・地域が共通理解することができた。地域貢献を通して生徒は地域住民の感謝の言葉から、自尊感情が高まった。

## ● その他

福岡中学校では学校運営協議会委員が教育活動のアイデアを出したり、専門の講師や団体に働きかけたりしてくれている。他にも学校・家庭・地域が協働する様々な教育活動を行っており、多くの大人たちが子供たちの成長に関わっている。また、その出会いが地域での人間関係を豊かにしてくれる。これらの活動を通して中学生の地域貢献意識が高まっている。コミュニティ・スクールの可能性は無限である。大人の本気が子供のやる気を引き出し、地域を元気にしている。学校は、生徒にとって将来の市民性を養う場となり、地域住民には生きがいや活躍する場となることを願い、地域づくりである視点を入れた地域とともにある学校づくりを考えている。